

図書館を十分 活用できるように

115A041 宗形 謙仕



大学に入学してから何度も図書館を利用しているのですが、そのほとんどはレポート作成のためのパソコン使用や、資料を印刷するためでした。本も授業のレポート作成のために借りたくらいで、自分の読書のために本を借りることはありませんでした。講義をたくさん取ったことや、新しい大学生活に慣れるのに必死だったこともあるのですが、高校までは学校や地域の図書館で結構本を借りていましたので、大学の図書館をまだ十分に活用できていないことはとても残念です。

基礎ゼミの「図書館ガイダンス」で、大学図書館の活用法を教えてくださいました。レポート作成に必要な書物や資料の検索の方法や、それがどこにあるかもすぐわかるようになりました。聖学院大学の図書館には約30万冊もの蔵書があるとのことなので、少しでも多くの本に触れ、知識を増やせるように活用したいと思います。

聖学院大学の図書館は本だけではなく、パソコンやタブレットを借りることができ、視聴覚コーナーではDVDを見ることもできます。洋書から和書、児童書や絵本が幅広く揃えられ、新聞や雑誌を読むこともできます。これらを十分に使えたら、これからの自分の成長が大きく助けられることでしょう。あるのに使わない、使えないことは本当に残念なことです。

まだ時間の使い方に慣れていないので図書館と仲良くなれてはいないのですが、やがてリラックスできる自分の居場所の一つとして、充実した時間を過ごせるようになりたいと思います。

「図書館」と聞くと難しい本ばかり置いてあり、静かにしなくちゃいけない、飲食してはいけない堅苦しい場所だと思う人がいるかもしれません。けれど図書館には、自分の知らない未知の世界が広がっており、心を休めることができ、その静けさの中で気持ちの切り替えもできる、できる事の多い場所だと私は思います。そのためにもこれから、もっともっと図書館を利用していきたいです。

(欧米文化学科1年)